

平成21年3月期(第7期) 決算説明会

平成21年5月20日
株式会社ジーダット



上期は当初計画通りの売上・利益

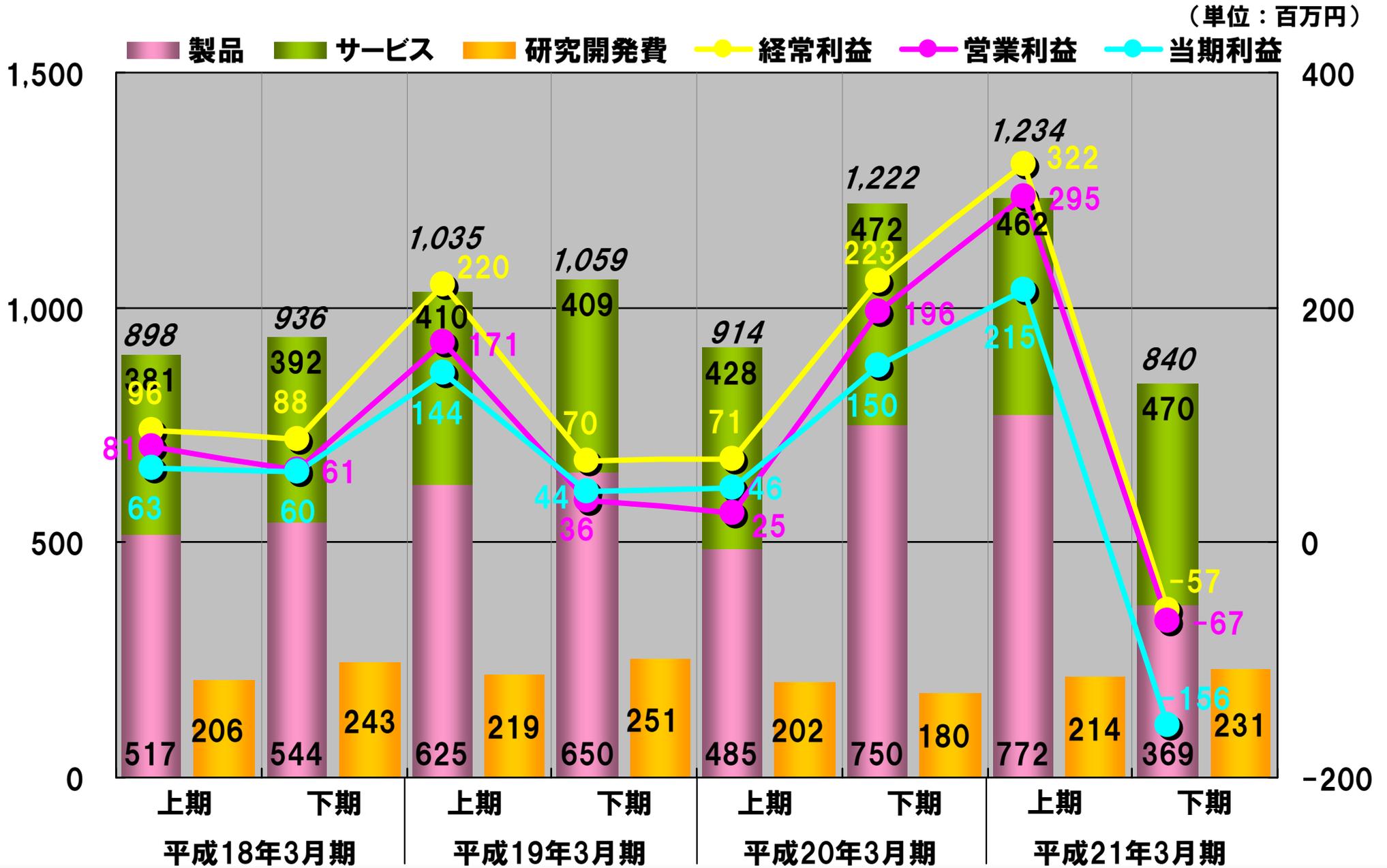
下期は顧客投資凍結のため大幅下落

通期営業利益は前期比2.5%UP

当期利益は有価証券減損のため大幅下落

研究開発投資は計画通り 継続

半期毎売上高・利益の推移

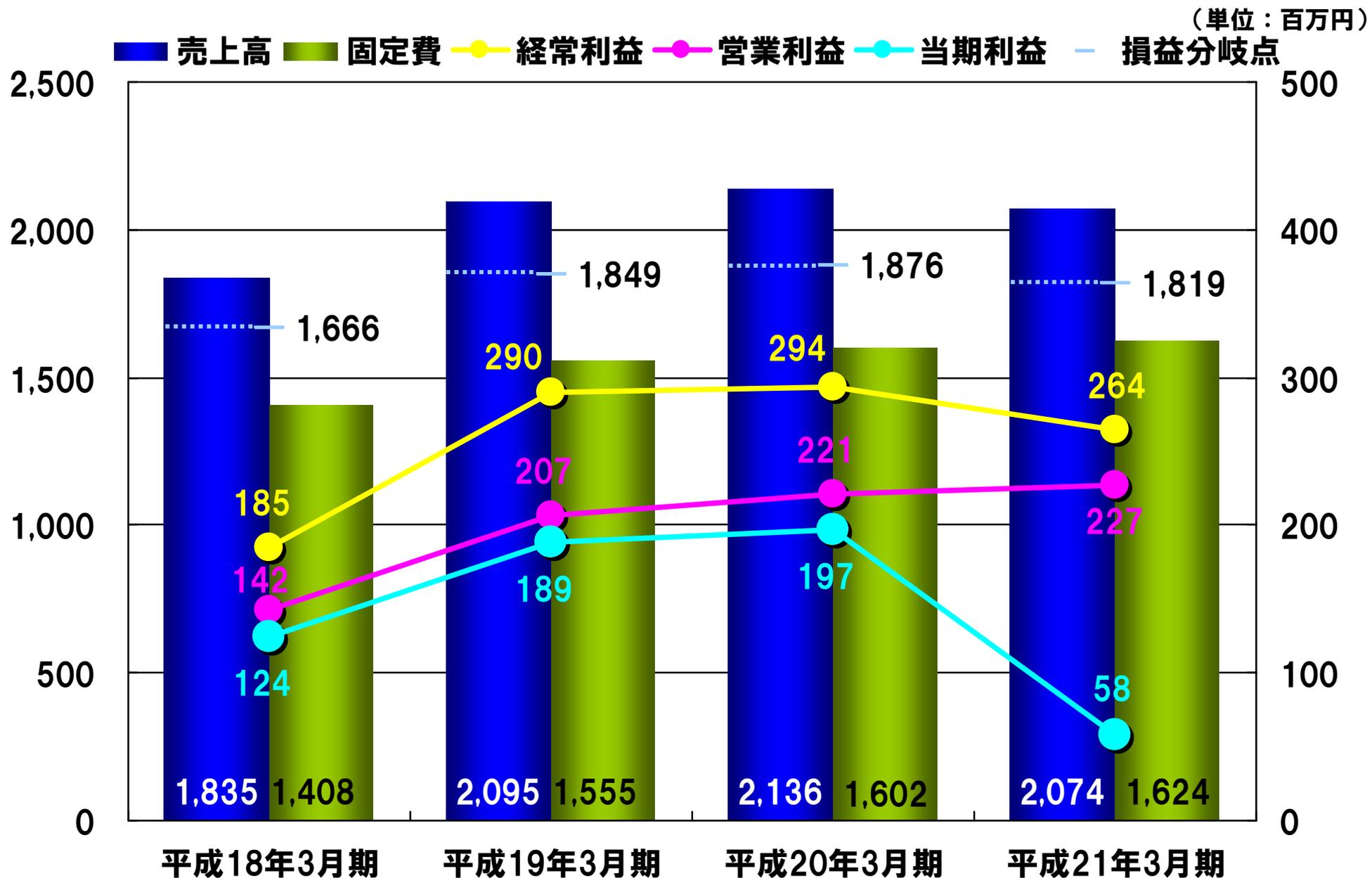


平成21年3月期業績概要(連結)

(単位：百万円)

| | 平成18年3月期 業績 | | 平成19年3月期 業績 | | 平成20年3月期 業績 | | 平成21年3月期業績 | | |
|----------------|----------------|--------|----------------|--------|----------------|--------|------------|--------|------------|
| | 実績 | 売上高比 | 実績 | 売上高比 | 実績 | 売上高比 | 実績 | 売上高比 | 対前年 同期比 |
| 売上高 | 1,835 | 100.0% | 2,095 | 100.0% | 2,136 | 100.0% | 2,074 | 100.0% | -2.9% |
| 売上総利益 | 1,284 | 70.0% | 1,473 | 70.3% | 1,478 | 69.2% | 1,474 | 71.1% | -0.2% |
| 販売費及び 一般管理費 | 1,141 | 62.2% | 1,266 | 60.4% | 1,256 | 58.8% | 1,247 | 60.1% | -0.7% |
| 営業利益 | 142 | 7.8% | 207 | 9.9% | 221 | 10.4% | 227 | 11.0% | +2.5% |
| 経常利益 | 185 | 10.1% | 290 | 13.9% | 294 | 13.8% | 264 | 12.8% | -10.2% |
| 当期純利益 | 124 | 6.8% | 189 | 9.0% | 197 | 9.2% | 58 | 2.8% | -70.1% |

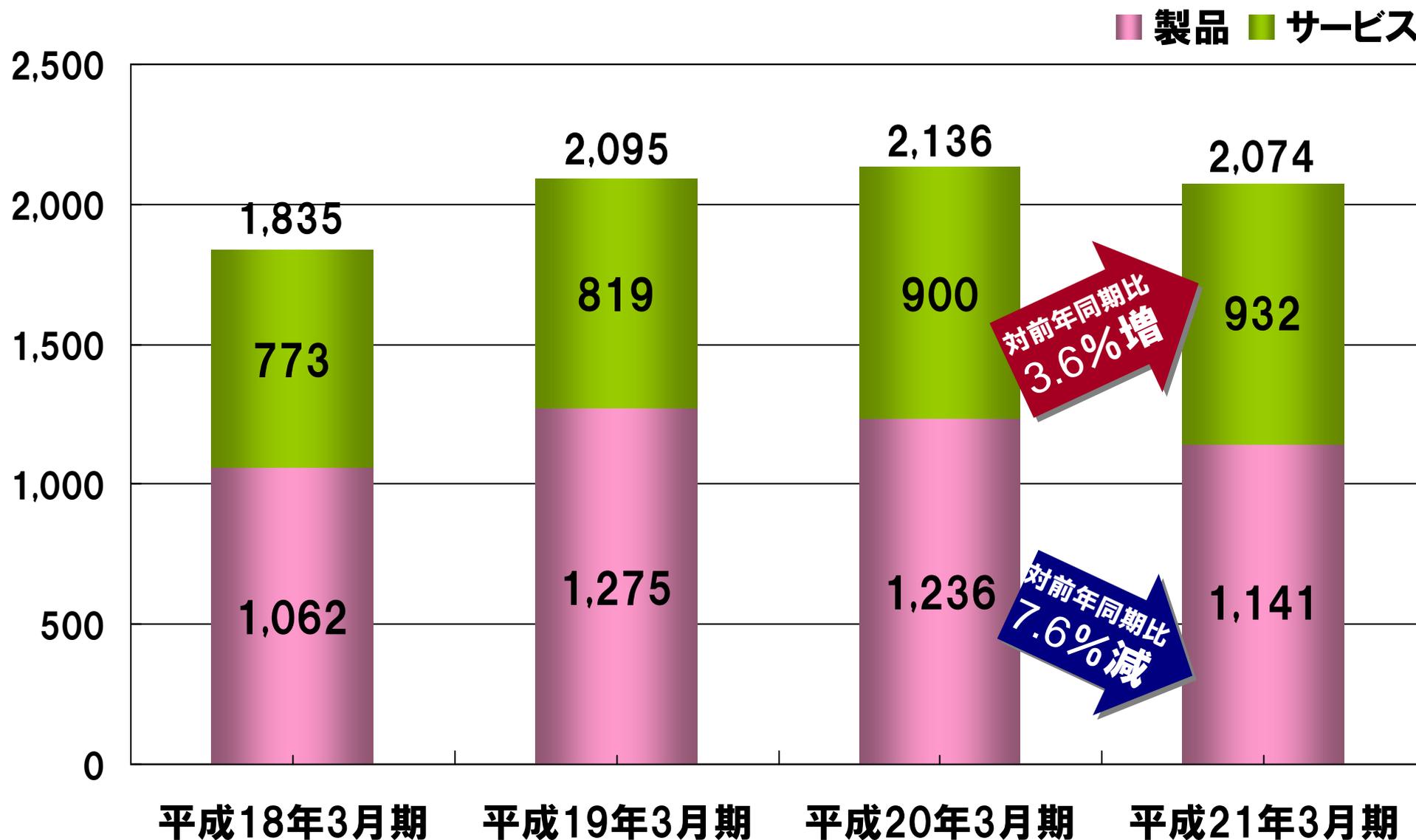
売上・利益の推移



事業別売上高の推移

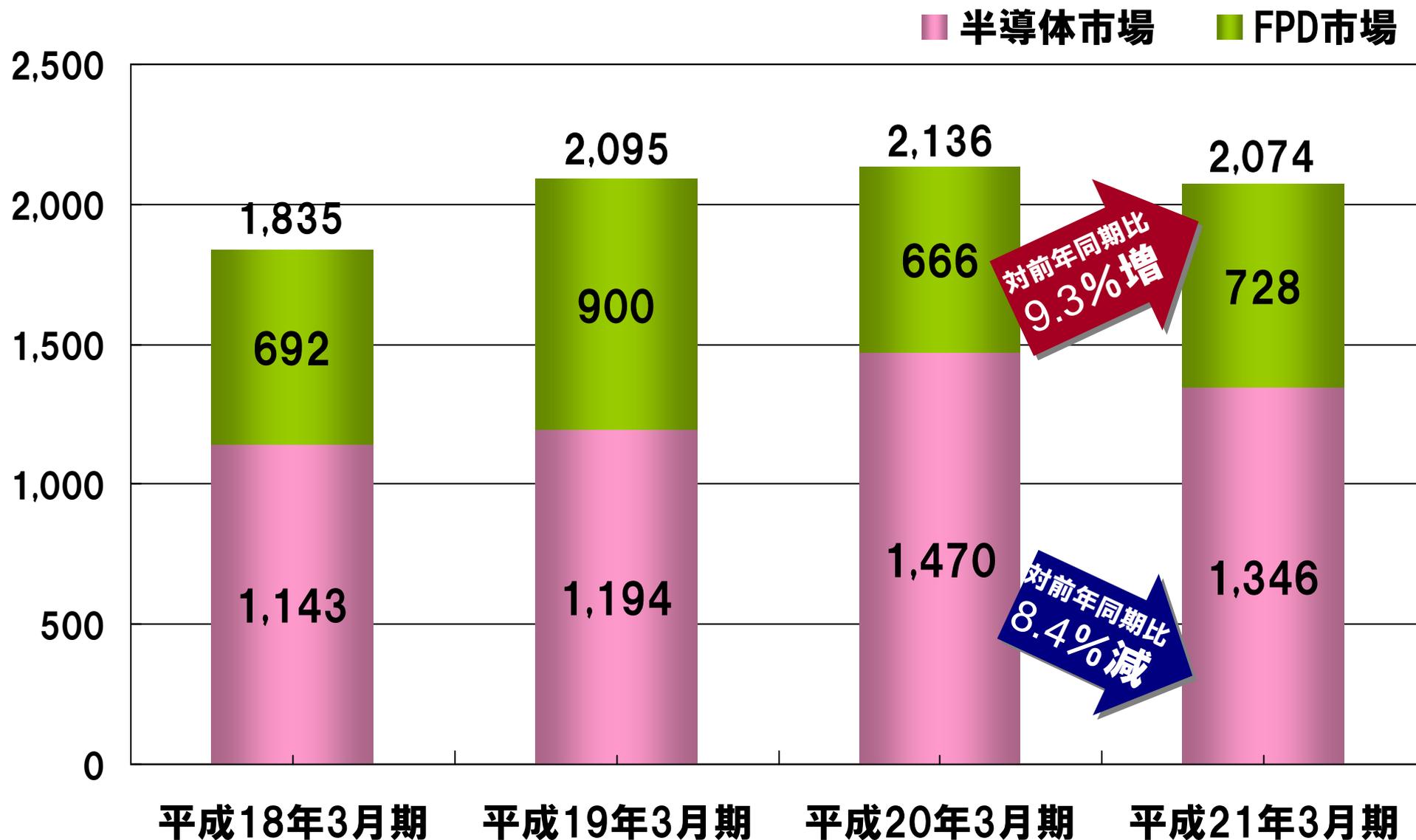
【製品／サービス】

(単位：百万円)



【半導体市場／FPD市場】

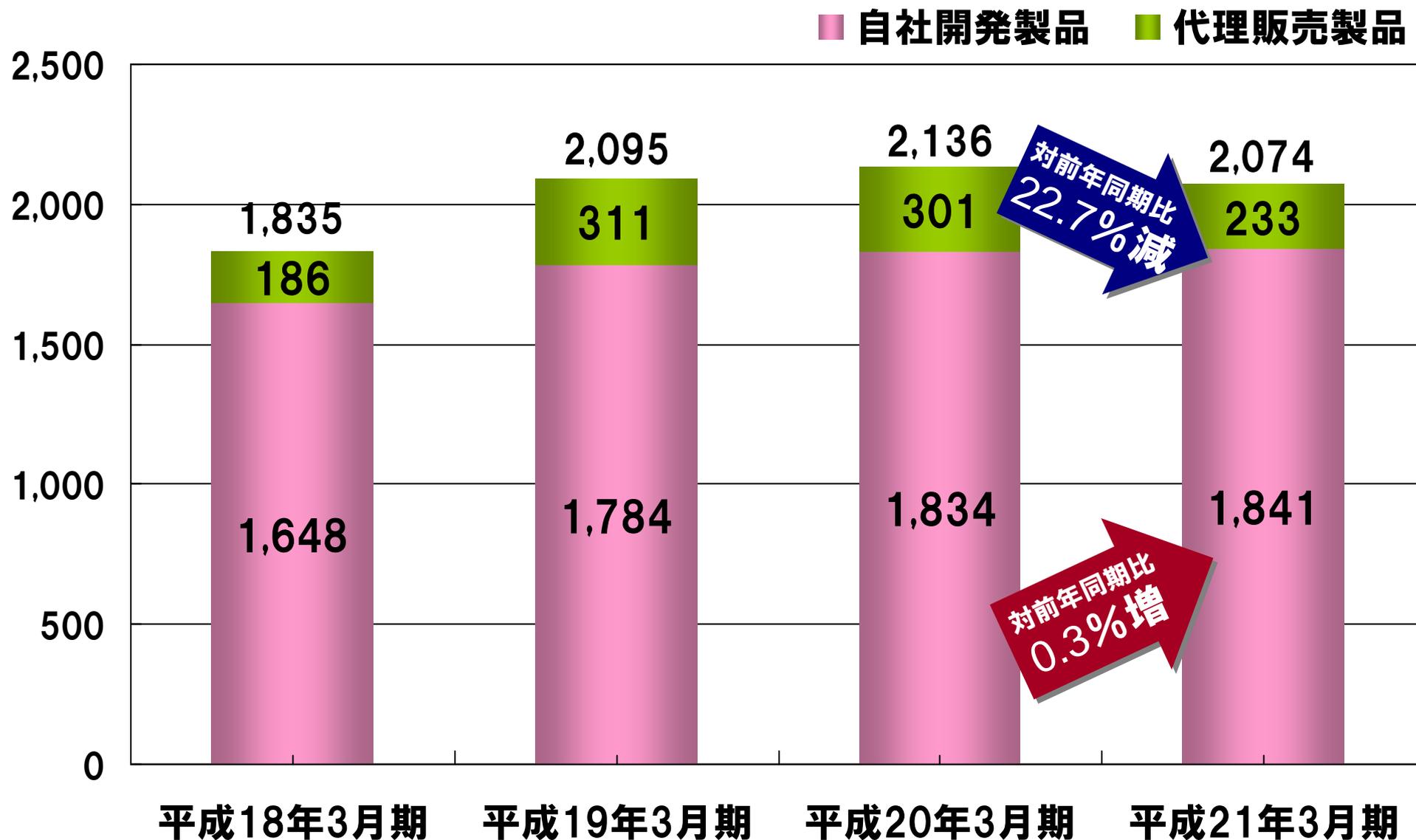
(単位：百万円)



製品区分別売上高の推移

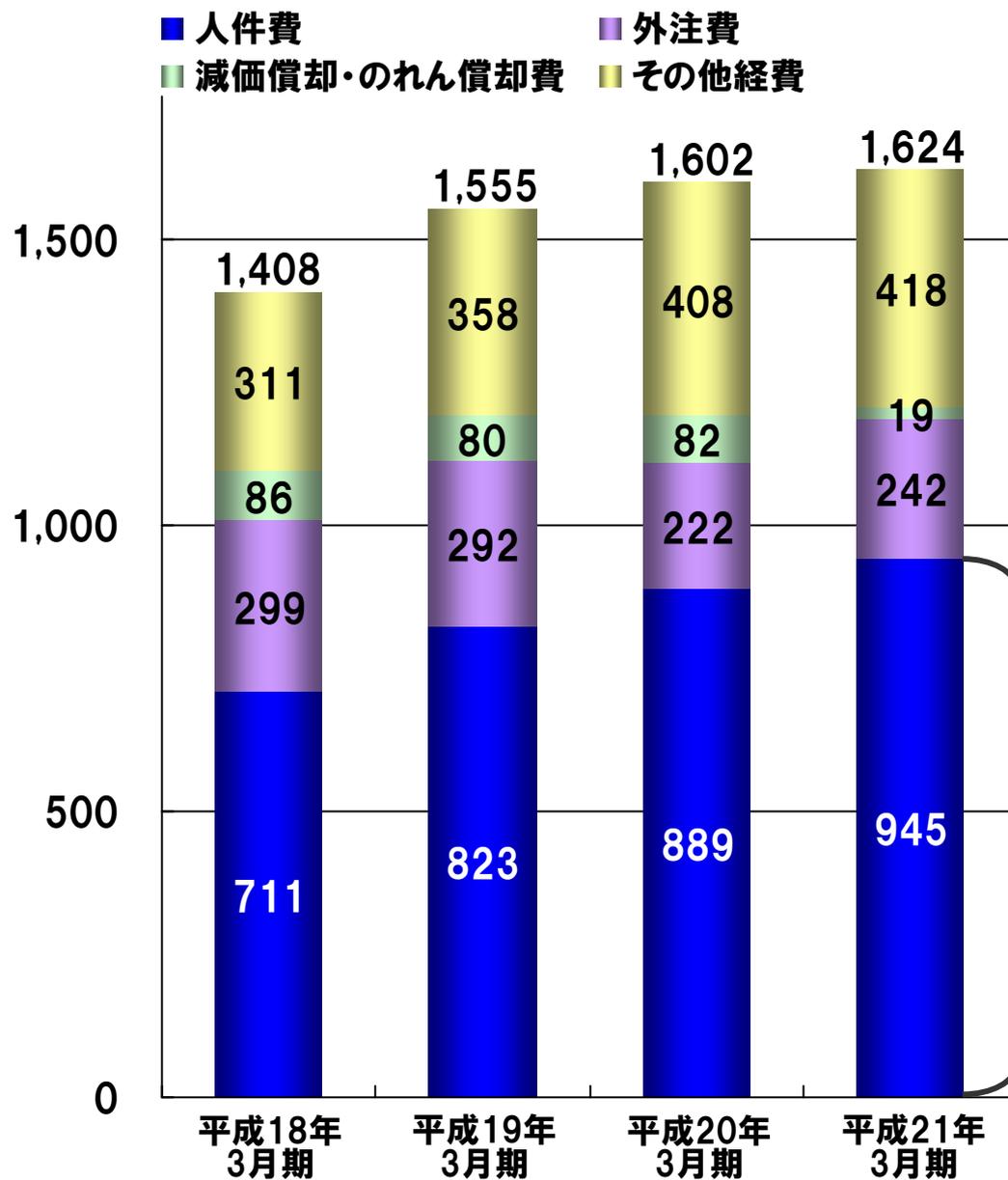
【自社開発製品／代理販売製品】

(単位：百万円)



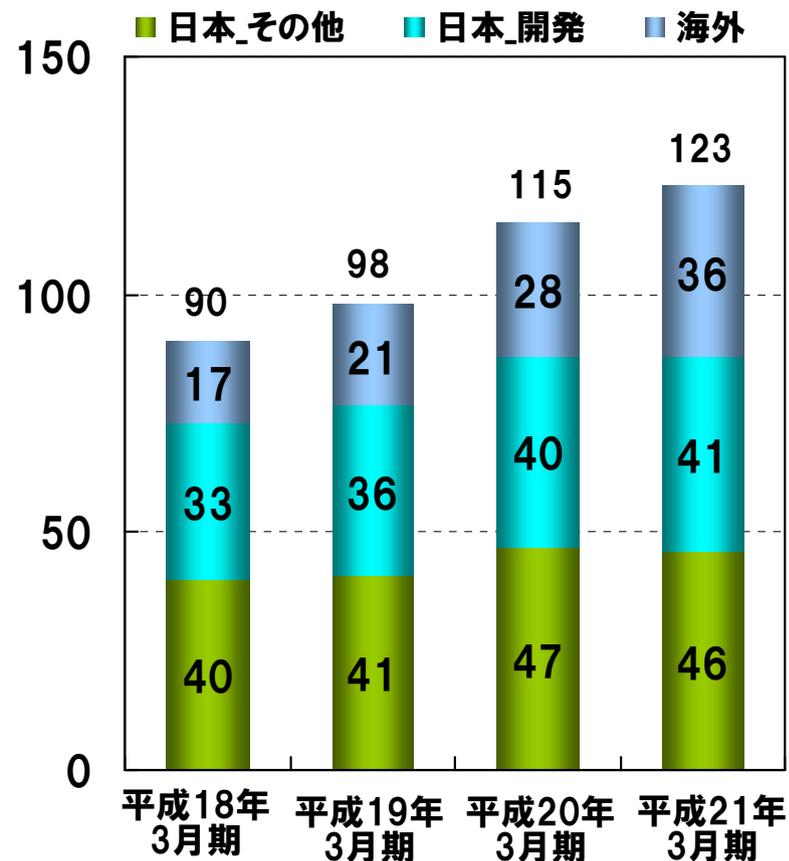
固定費内訳

(単位:百万円)

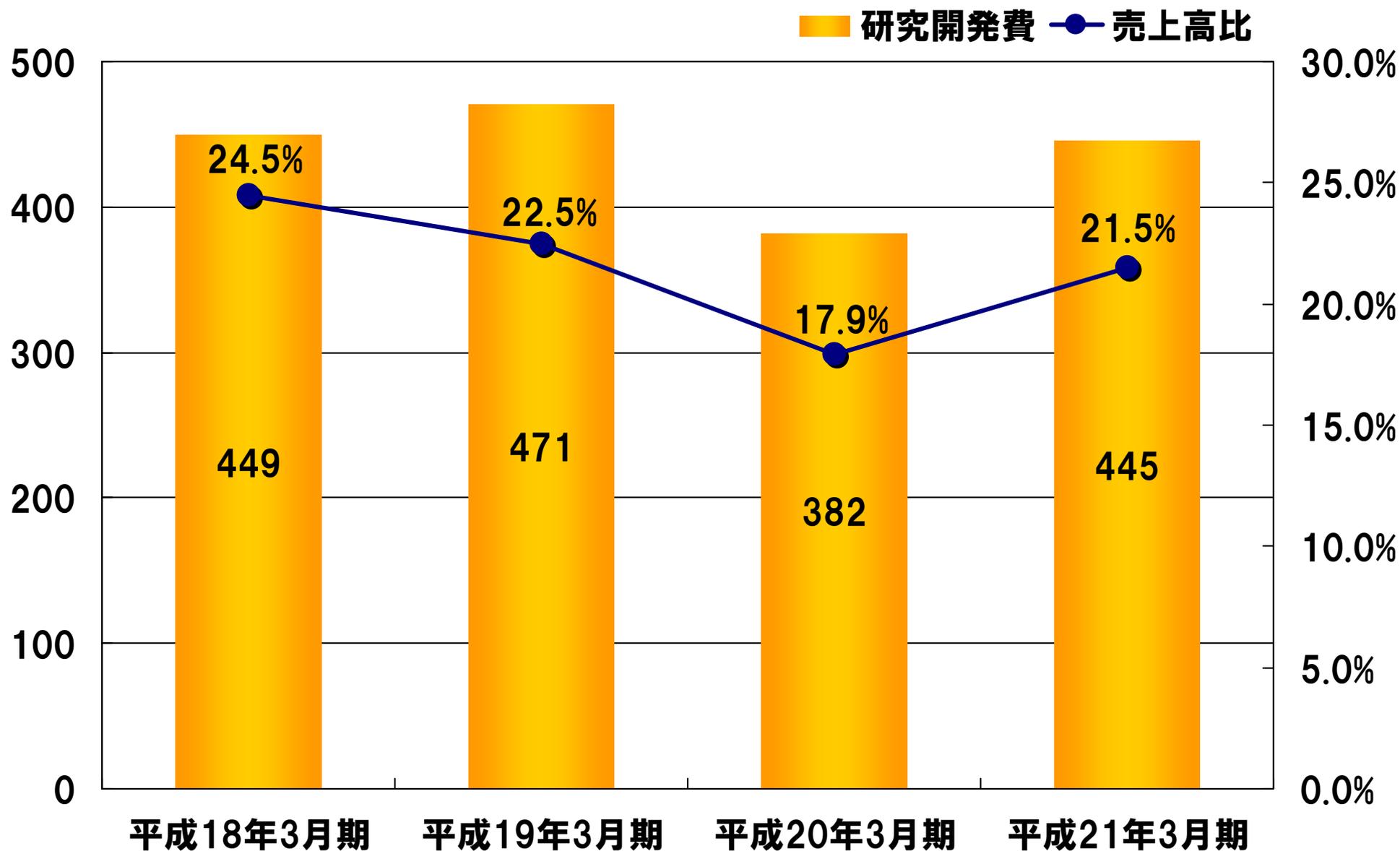


【期末要員数】

(単位:人)



(単位：百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 平成20年 3月期末 | 平成21年 3月期末 | 差異 | | 平成20年 3月期末 | 平成21年 3月期末 | 差異 |
|----------------|---------------|---------------|--------------|--------------------|---------------|---------------|--------------|
| (資産の部) | | | | (負債の部) | | | |
| I 流動資産 | 1,894 | 1,474 | △ 419 | I 流動負債 | 561 | 379 | △ 181 |
| 1 現金及び預金 | 1,348 | 1,070 | △ 277 | 1 買掛金 | 148 | 63 | △ 85 |
| 2 受取手形及び売掛金 | 421 | 298 | △ 122 | 2 未払法人税等 | 115 | 28 | △ 86 |
| 3 たな卸資産 | 27 | 13 | △ 14 | 3 賞与引当金 | 87 | 80 | △ 7 |
| 4 繰延税金資産 | 56 | 39 | △ 16 | 4 その他 | 209 | 206 | △ 2 |
| 5 その他 | 40 | 51 | 10 | 負債合計 | 561 | 379 | △ 181 |
| II 固定資産 | 1,076 | 1,352 | 276 | (純資産の部) | | | |
| 1 有形固定資産 | 24 | 21 | △ 3 | I 株主資本 | 2,428 | 2,449 | 20 |
| 2 無形固定資産 | 8 | 40 | 32 | 1 資本金 | 760 | 760 | - |
| 3 投資その他の資産合計 | 1,043 | 1,291 | 247 | 2 資本剰余金 | 890 | 890 | - |
| 投資有価証券 | 100 | - | △ 100 | 3 利益剰余金 | 810 | 831 | 20 |
| 繰延税金資産 | 181 | 207 | 25 | 4 自己株式 | △ 32 | △ 32 | - |
| 長期預金 | 700 | 1,000 | 300 | II 評価・換算差額等 | △ 19 | △ 1 | 17 |
| その他 | 61 | 84 | 22 | その他有価証券評価差額金 | △ 21 | - | 21 |
| | | | | 為替換算調整勘定 | 2 | △ 1 | △ 4 |
| | | | | 純資産合計 | 2,409 | 2,447 | 37 |
| 資産合計 | 2,970 | 2,826 | △ 143 | 負債純資産合計 | 2,970 | 2,826 | △ 143 |

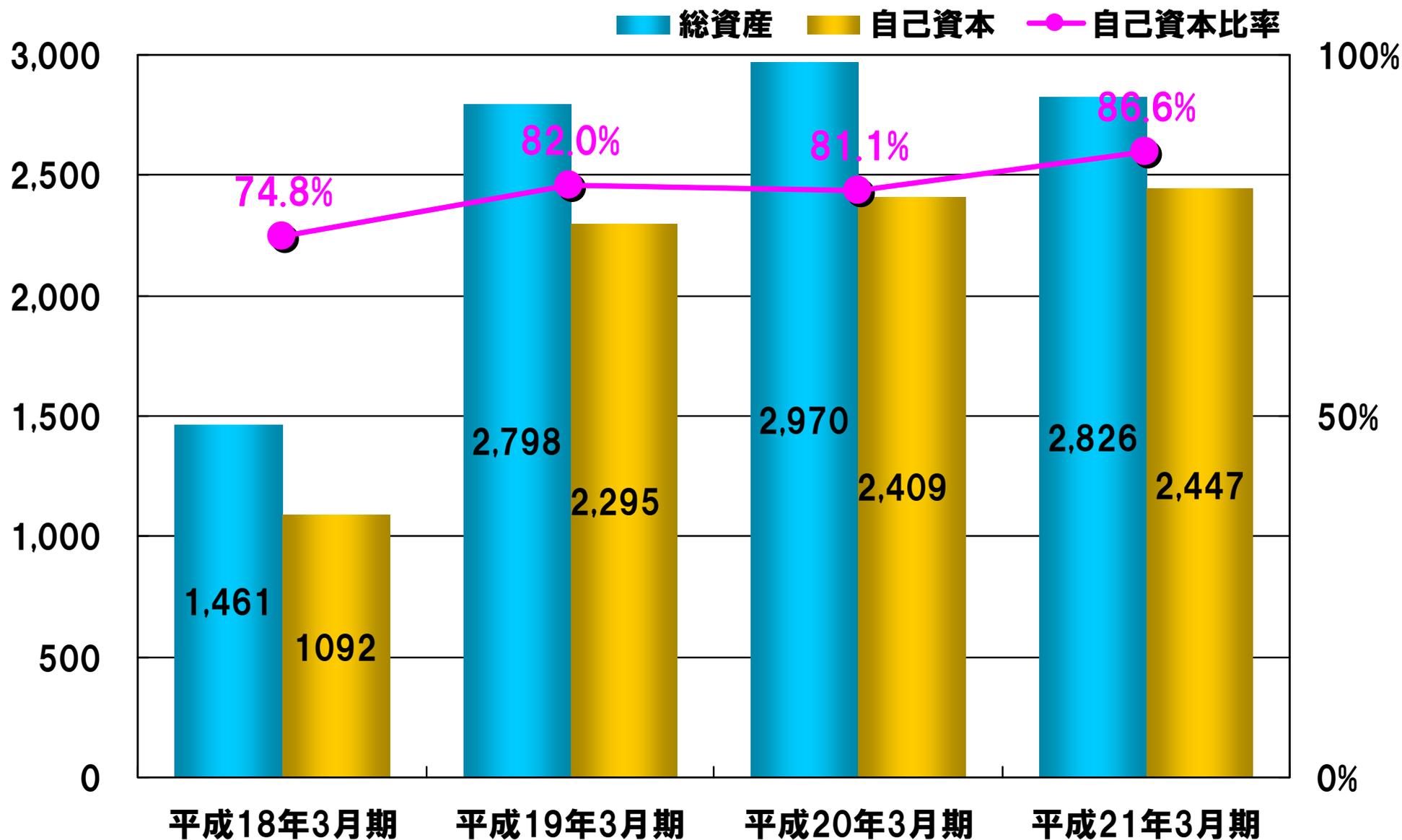
連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

| | 平成20年 3月期末 | 平成21年 3月期末 | 差異 |
|----------------------|---------------|---------------|-------|
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | 322 | 138 | △ 183 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 829 | △ 373 | 456 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 61 | △ 38 | 23 |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 | △ 4 | △ 4 |
| V 現金及び現金同等物の増減額 | △ 569 | △ 277 | 291 |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,917 | 1,348 | △ 569 |
| VII 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,348 | 1,070 | △ 277 |

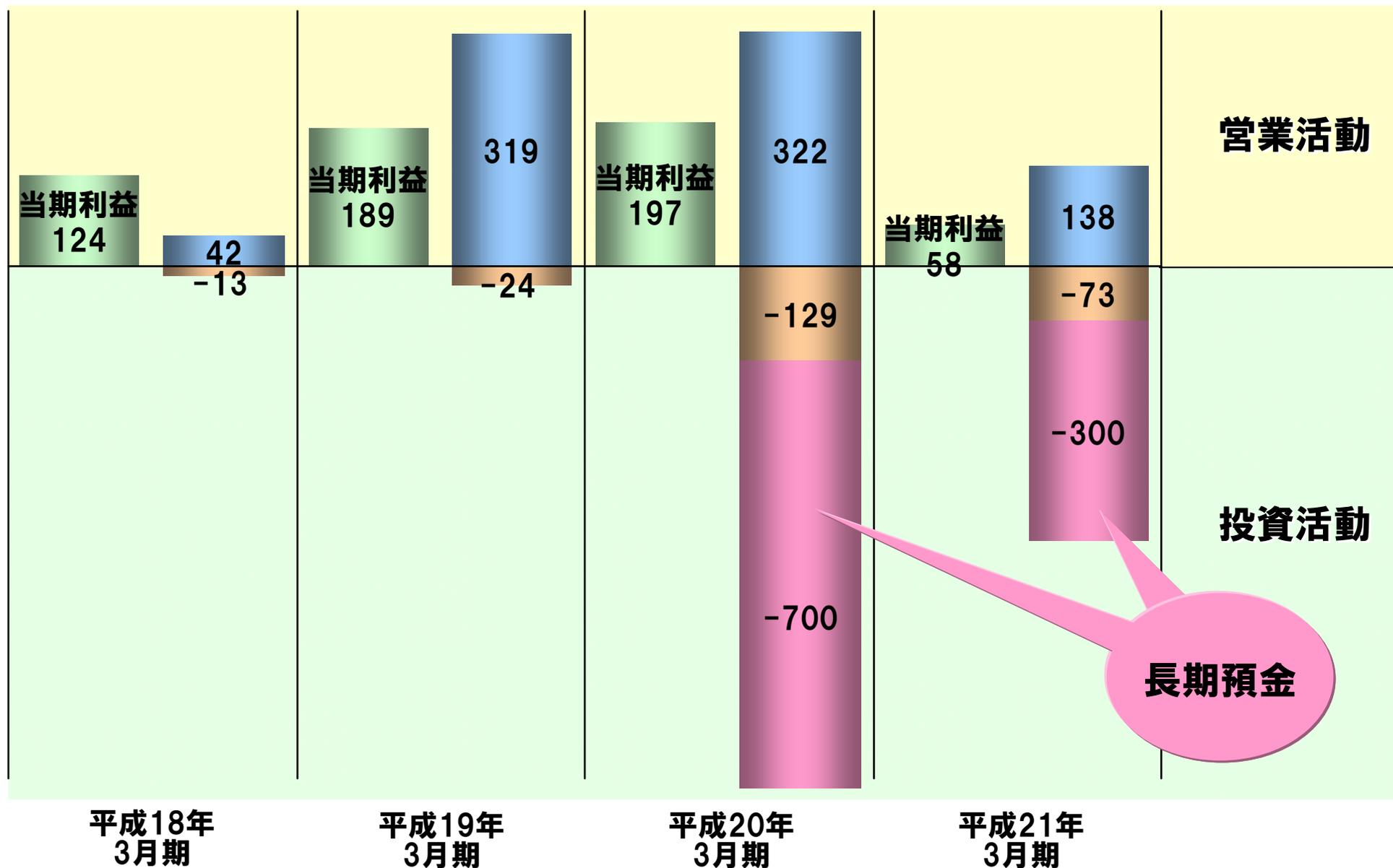
総資産・自己資本

(単位：百万円)



当期利益とフリーキャッシュフロー

(単位：百万円)



- **主力商品：α-SX V3.3.0をリリース（8月）**
– 主に回路・レイアウト連携機能およびFPD設計機能を強化



- **有機ELパネル設計用2次元光学シミュレータの販売開始（10月）**
– 有機ELパネル設計システムの強化



- **スタンダードセルライブラリ検証ツールの販売開始（10月）**
– ライブラリ作成・検証機能の強化



- **Mentor社との提携：「Open Door」(10月)**
– グローバル化の一環



- **プライベートショウを大阪・東京で開催（10月）**
– 新製品を多数紹介
– ユーザによるジーダット製品の運用事例紹介



- **NEC-EL向けプロセス・デザイン・キットの配布開始 (11月)**
- オープン性拡大の一環

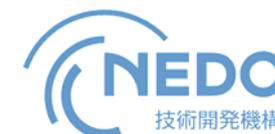
- **中国SMIC向けプロセス・デザイン・キットの配布開始 (11月)**
- オープン性拡大の一環



- **EDSFair2009に出展 (1月)**
- 上流系製品を中心に紹介



- **SRAM特性のばらつき解析を従来の600倍に高速化 (2月)**
- NEDOから技術移管を受けてジーダットが高速化



- **主力商品: α -SX V3.4.0をリリース (2月)**
- 主に上流系設計機能の強化、FPD系高付加価値新製品



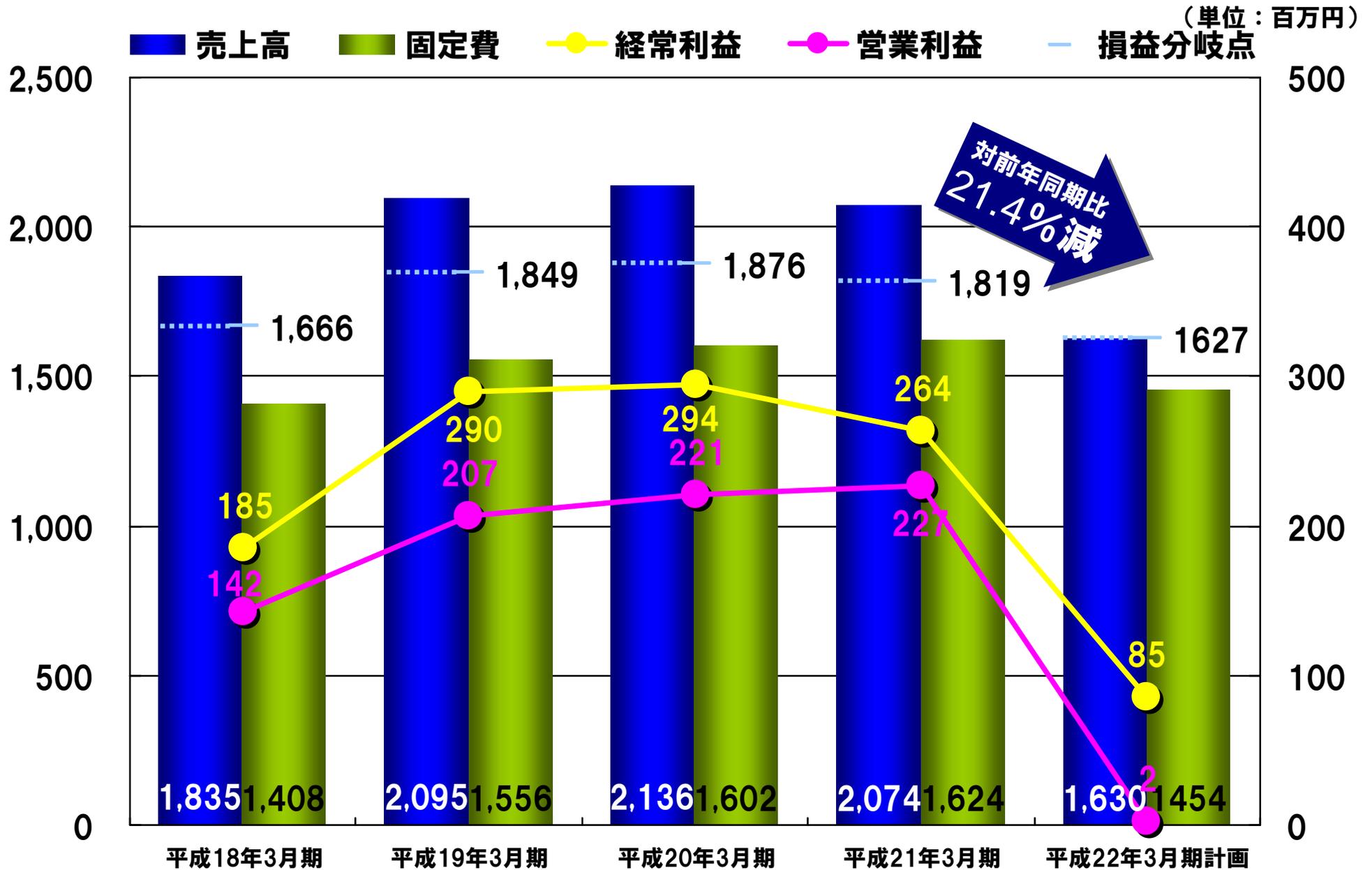
国内景況悪化のため売上高が大幅ダウン

固定費圧縮により営業黒字を目指す

高比率の研究開発投資を継続

海外向け販売体制の重点強化

売上・利益



顧客

EDA

受注激減・・・B/Bレシオ0.3

半導体業界の再編

- ・ ロームがOKIセミコンダクタを吸収
- ・ ルネサステクノロジとNECエレクトロニクスの統合
- ・ 川崎マイクロエレクトロニクスが撤退

半導体業界各社の対象分野の絞込みと品種の絞込み

液晶パネル業界の再編

- ・ 日立ディスプレイズ
- ・ IPSアルファテクノロジー
- ・ エプソンイメージングデバイス

設備投資抑制

製品
売上
大幅減

設計者の減少

サービス
売上
大幅減

営業黒字・固定費圧縮

(単位：百万円)

平成21年3月期
営業利益実績

227

売上減少
による影響

△395

平成22年3月期
営業利益計画

2

31

研究開発費の圧縮

150

△12

営業外

△20

本社移転
費用

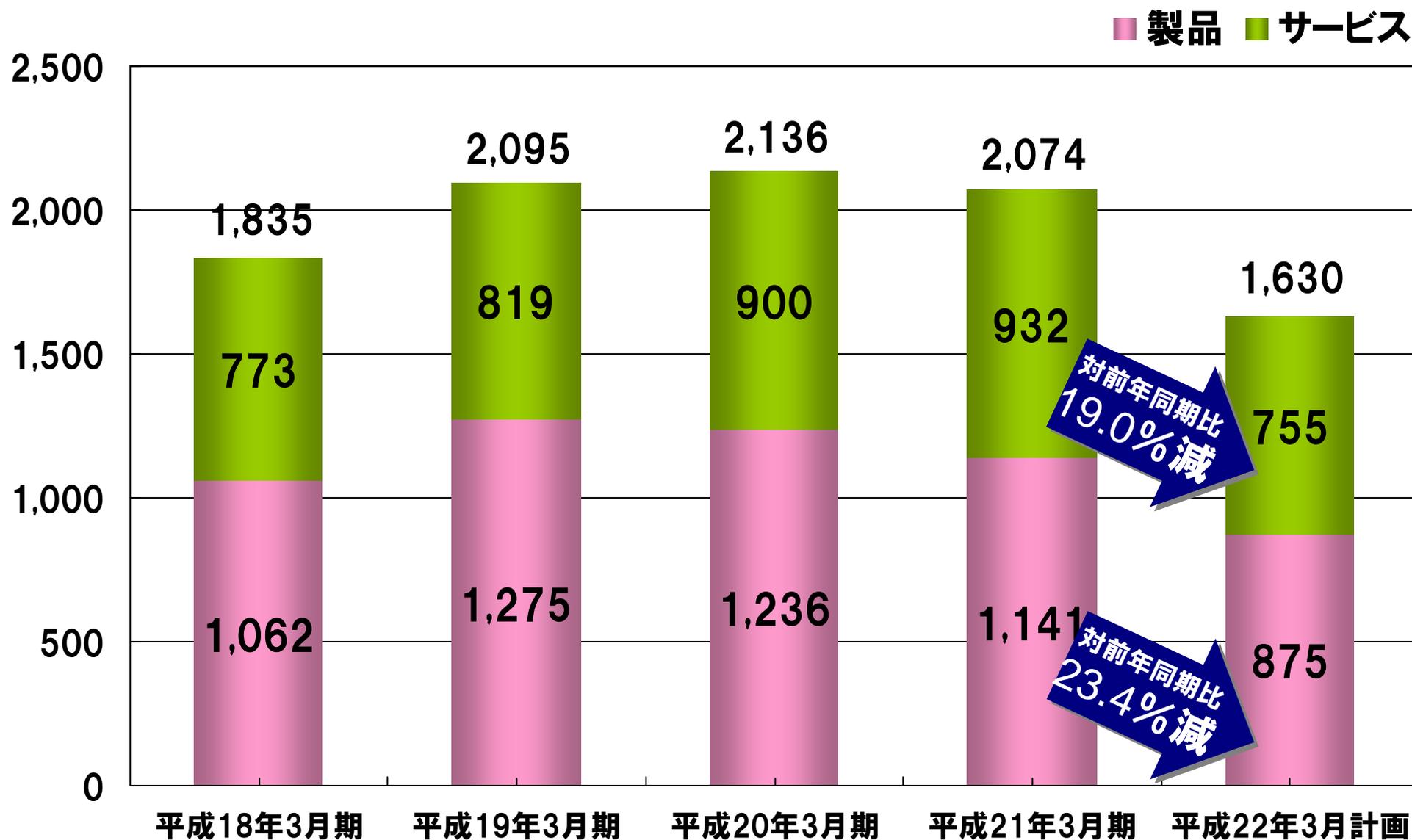
新設計手法の
普及に向けて

固定費(除研究開発費)圧縮

- ・ 役員報酬削減 (30~40%)
- ・ 幹部社員報酬削減 (5~10%)
- ・ 賞与引当金の圧縮
- ・ 外部委託費の削減
- ・ 交際費、広告宣伝費等削減

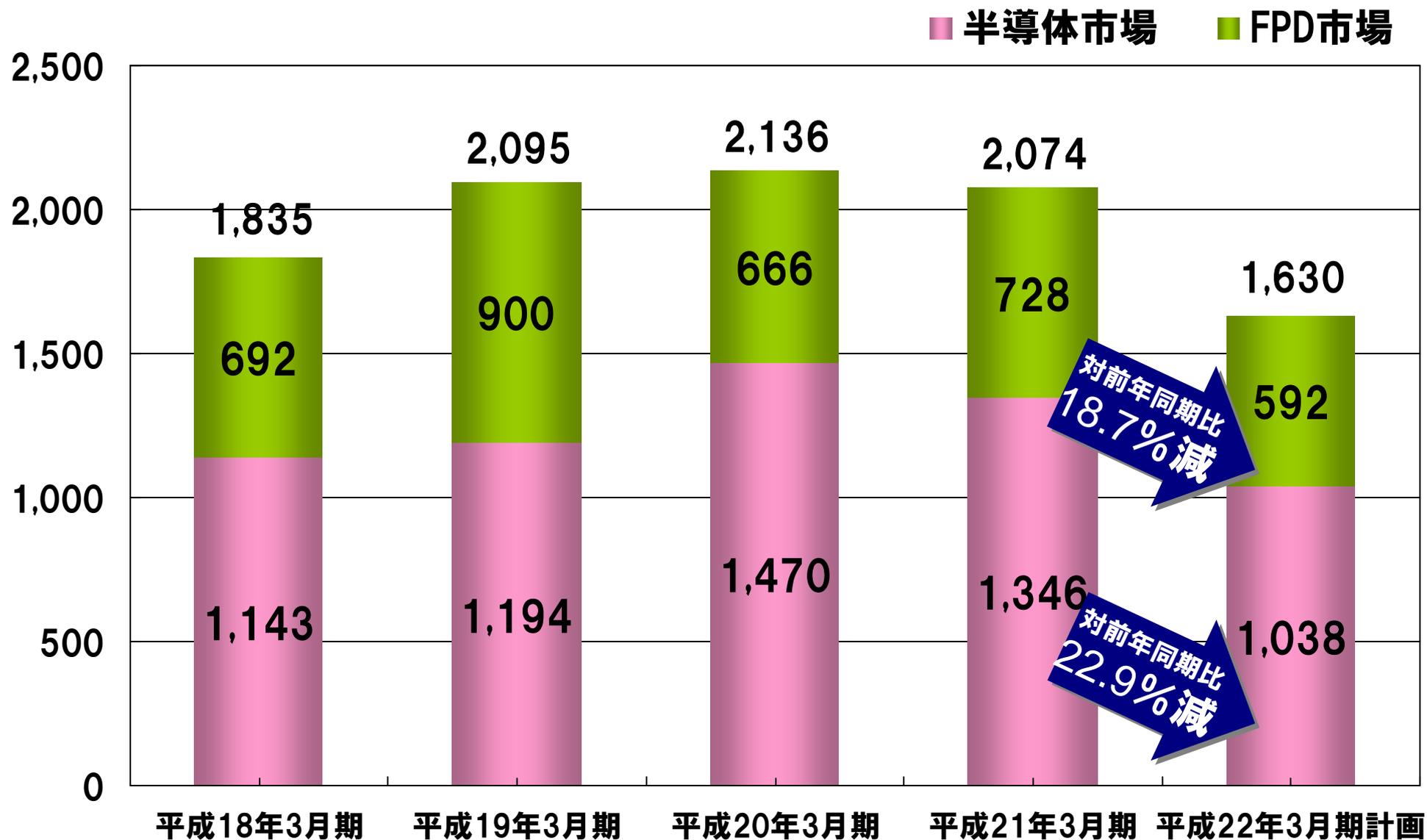
【製品／サービス】

(単位：百万円)



【半導体市場／FPD市場】

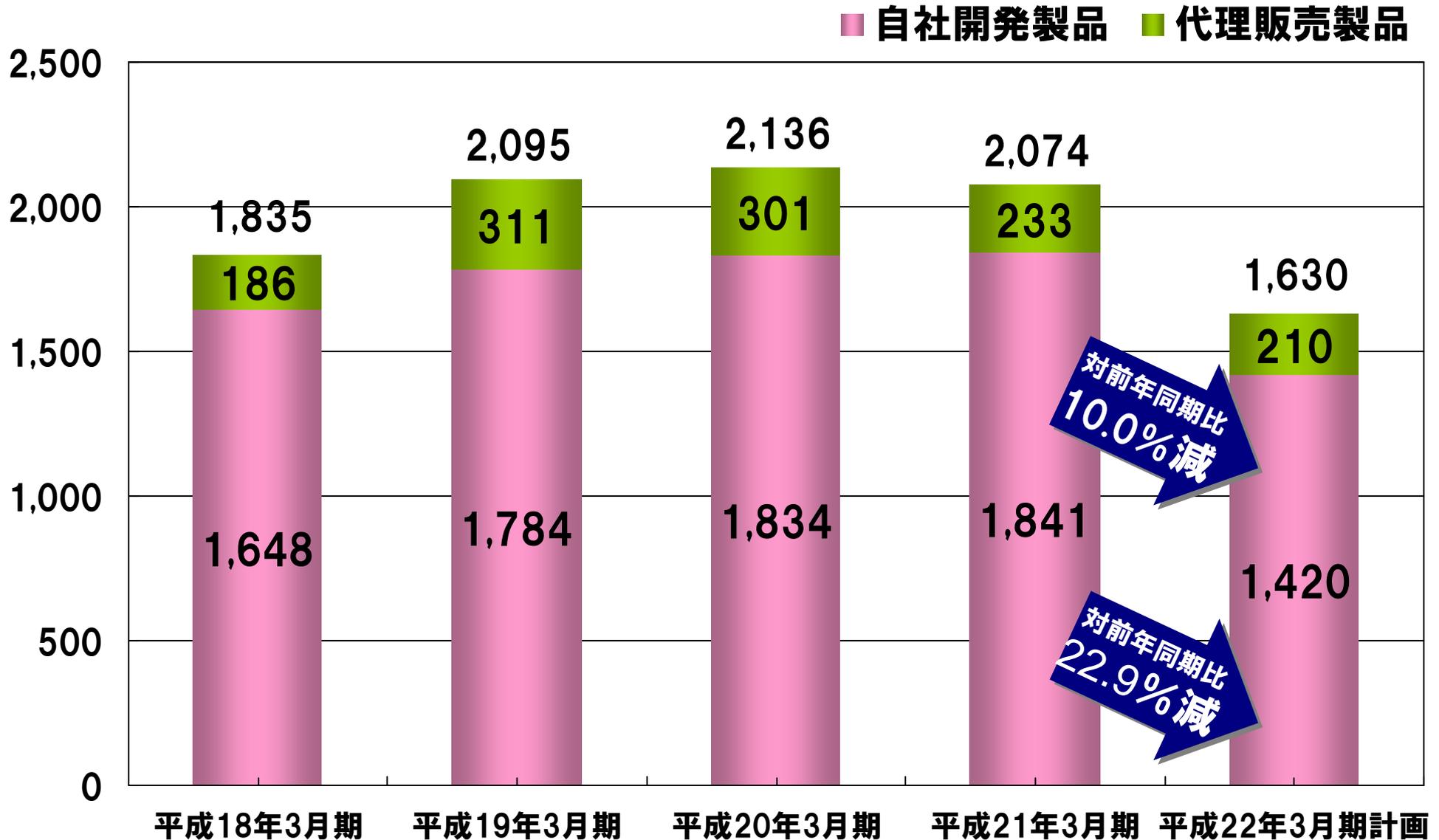
(単位：百万円)



製品区分別売上高の推移

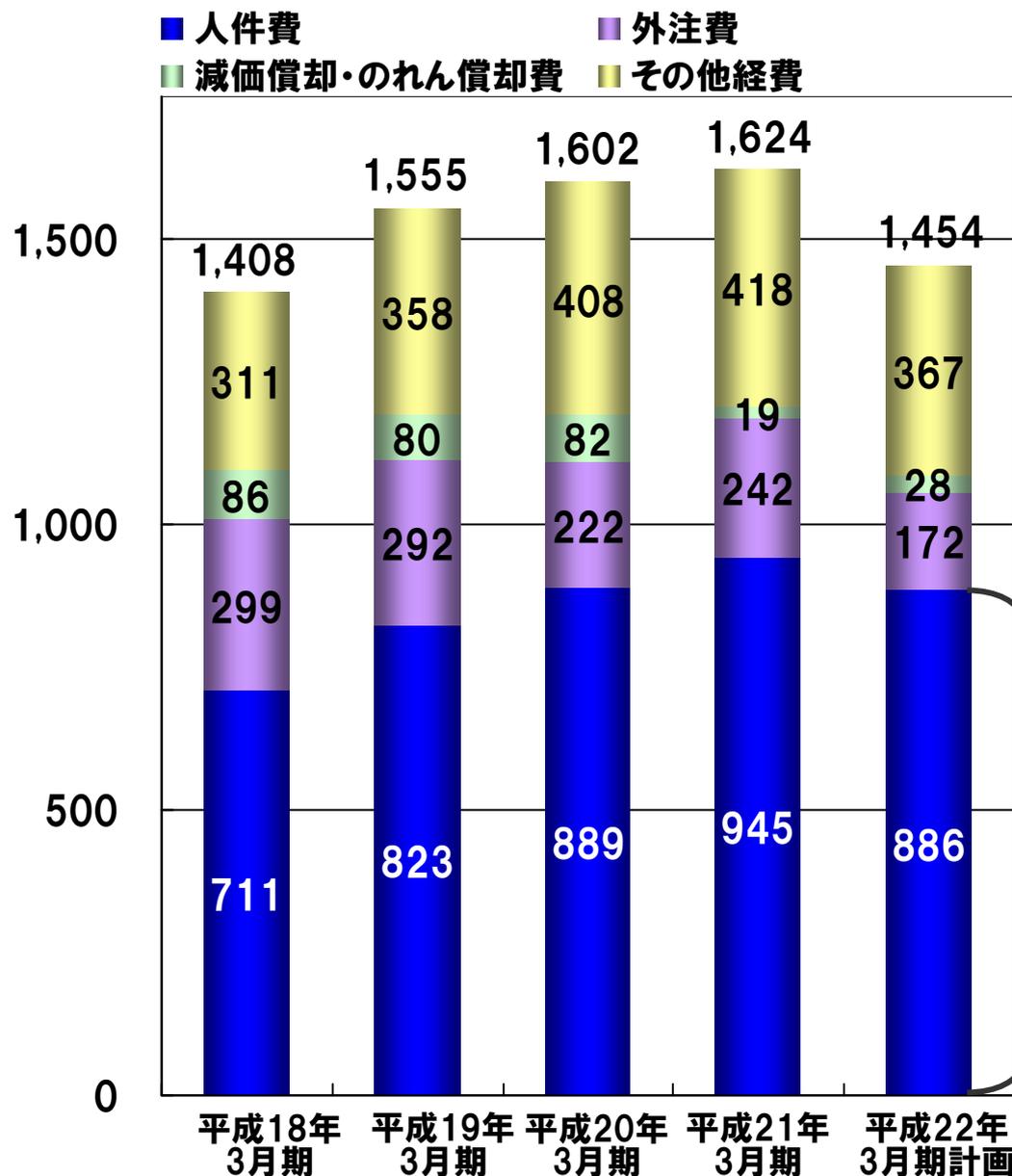
【自社開発製品／代理販売製品】

(単位：百万円)



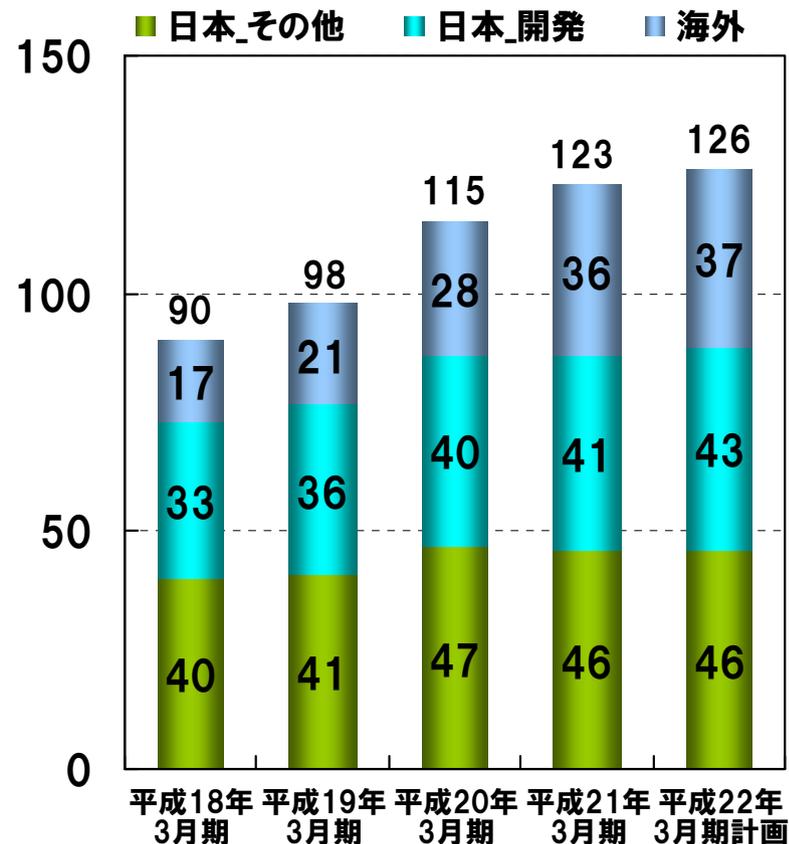
固定費内訳

(単位:百万円)

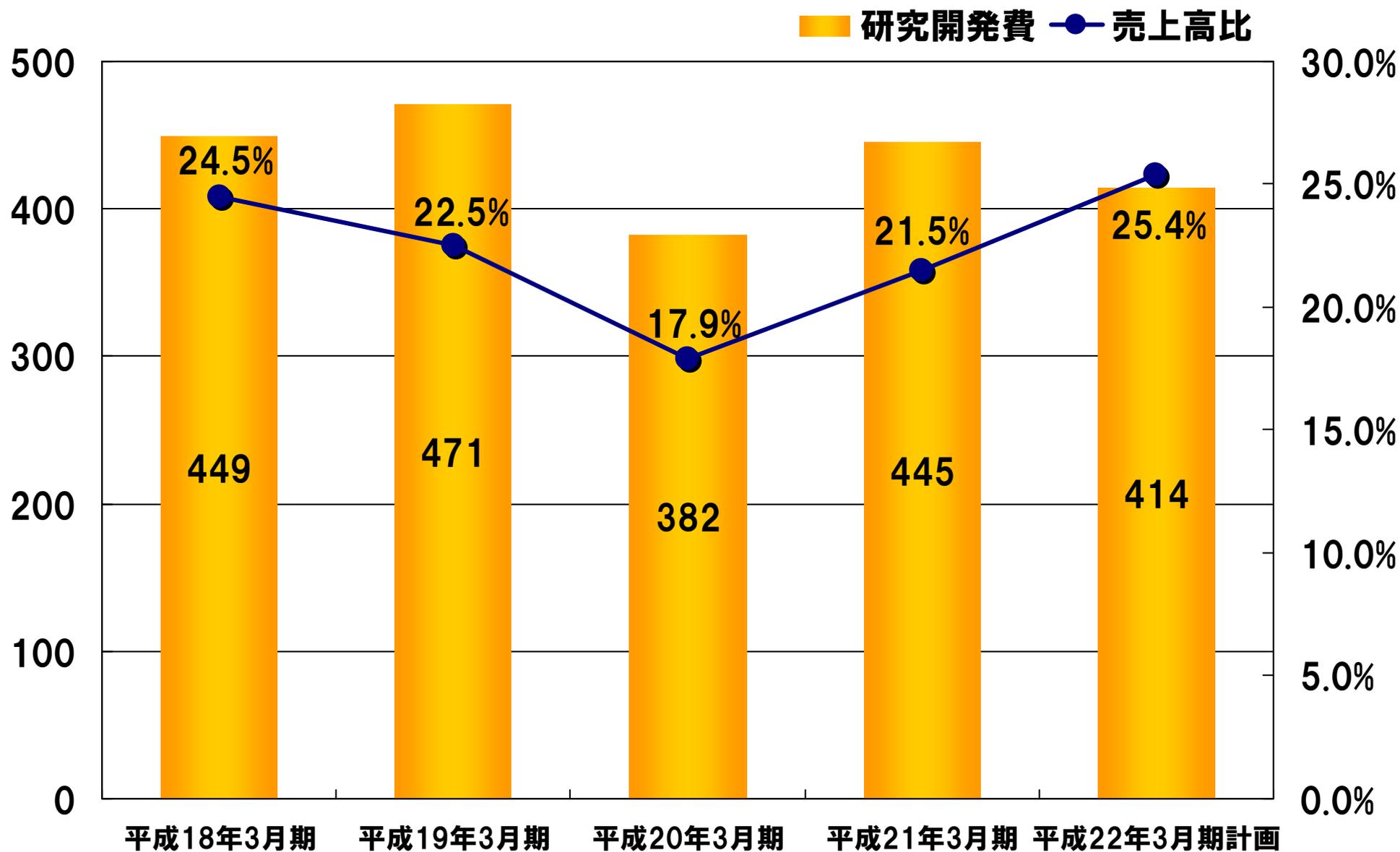


【期末要員数】

(単位:人)



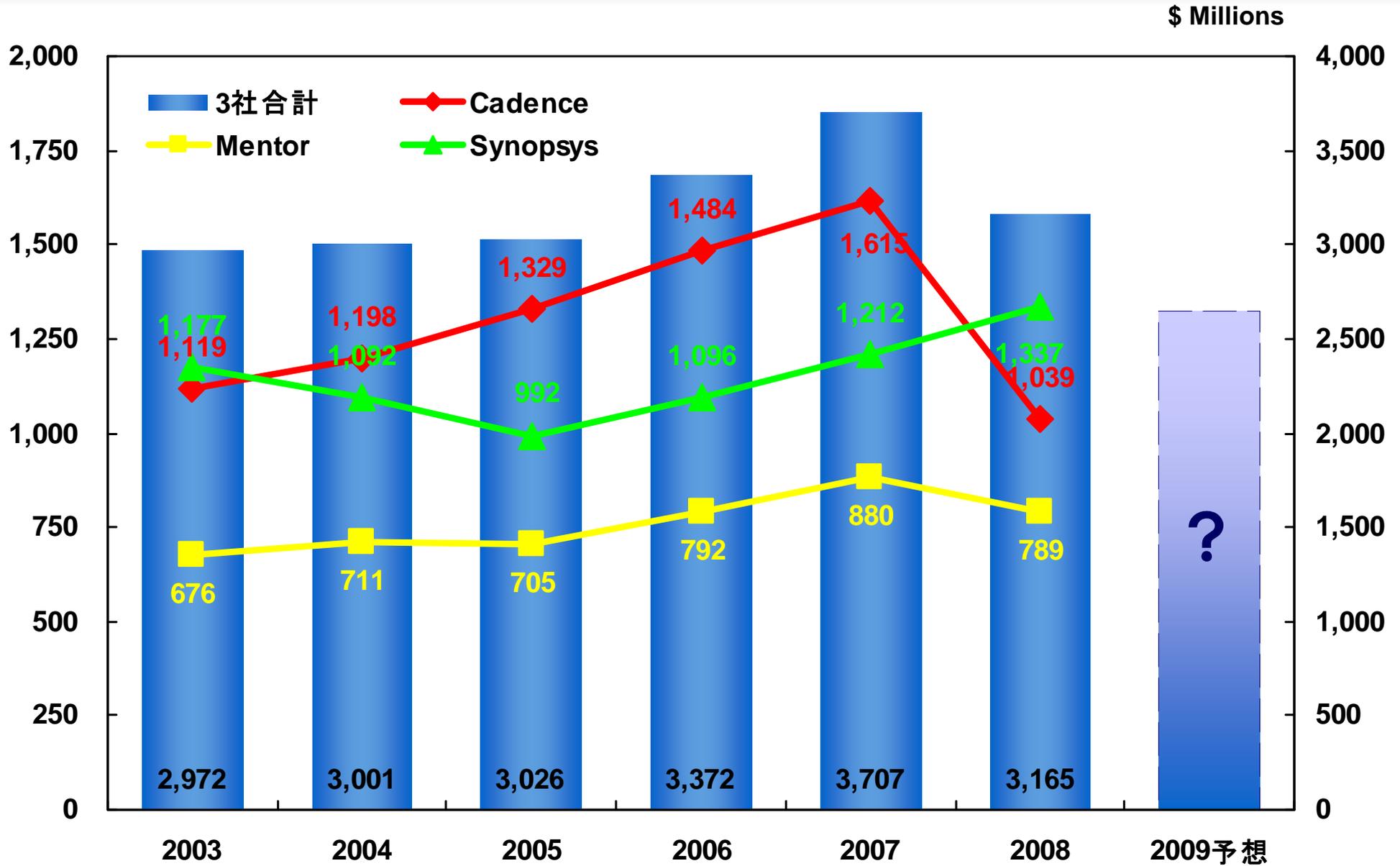
(単位：百万円)



難局を乗り越え成長に転じるために

- 今年は何とか耐えつつ来年、来々年に備える
幸い資金繰りに問題はない・・・出直しの年
- 成熟市場における売上拡大とは即ちシェア拡大、他社リプレイスにほかならない
- 優位性のある製品 & 設計フローの更なる改良・性能向上に邁進する -----顧客の設計効率を3倍から5倍へ
- 当社製品・設計環境の使用効果を最大にするためのコンサルテーション力を継続的に強化する
- 海外、特に中国、韓国、台湾の営業活動を強化する

EDA業界のトレンド ~Big3の売上



Source: Annual Reports

顧客技術者の大問題：

① 人がいない

- 設計効率を上げなければならない
- 設計品質は絶対に落とせない
- 新しい設計ツールを評価する余裕はない

② 金がない

- 外注出来ない
- レイアウト設計は慣れていない



➡ 顧客が本当に困った今こそチャンス！

半導体



現在、売上比の小さい(2%)回路設計分野での新製品開発を加速し2年後には比率を10%に高める

シミュレーション精度&効率UP

- 高速高精度回路シミュレータ
- 新しい工夫によるシミュレーション回数の削減実現
- シミュレーション結果解析の高速化実現

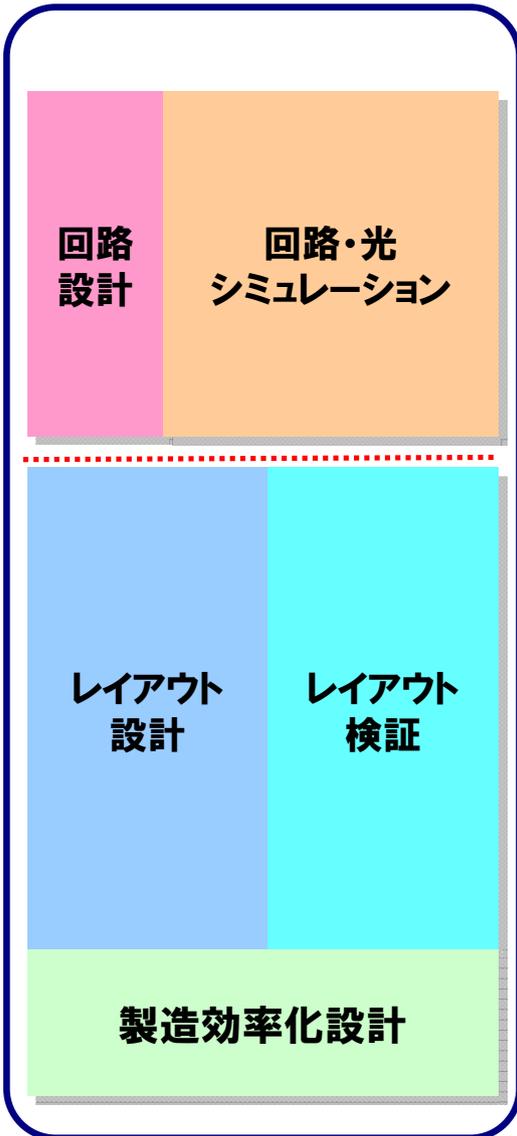
競争力のあるレイアウト設計分野で売上拡大

→自動設計を取り入れた新設計手法の提案強化

新設計手法の普及

- 新設計手法コンサルティングの強化
- 実設計における新設計手法活用
→顧客との共同プロジェクト

FPD



強みを活かした総取り戦略

- トータルな設計フロー
- 回路シミュレーションと光シミュレーションの統合設計環境
- 高精度・高速なLCD/OLED特有の抵抗・容量計算
- シミュレーションモデルの個別対応
- LCD/OLED特有の複雑な繰り返しパターンに対応した配線機能
- 顧客ごとの個別製造方式に合わせたカスタマイズ

現在の海外販売比率5%を
3年後には20%に上げる

中国FPD市場拡大への対応(α-SX)

- サポート体制の強化と販売代理店支援強化
- 北京R&D子会社→事業拠点
- 上海にサポート拠点

韓国FPD市場、台湾FPD市場の拡販(α-SX)

- 販売代理店の支援強化
- 他社では出来ないこと(高精度高速抵抗・容量計算)から入る

韓国半導体市場の拡販(α-SX)

- アナログLSI, メモリ、ドライバーをターゲット
- 自動設計を取り入れた新設計手法の提案
- 販売代理店の支援強化

HOTSCOPEの拡販

- 世界中の半導体市場をターゲット
- 販売代理店の増強

米国・欧州半導体市場の拡販(α-SX)

- アナログLSIをターゲット
- 自社AEを置く

ご清聴ありがとうございました

